

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-187807
(P2004-187807A)

(43) 公開日 平成16年7月8日(2004.7.8)

(51) Int. Cl.⁷

A61B 1/00
G06F 17/60

F I

A61B 1/00 Z
G06F 17/60 3O2A
G06F 17/60 326

テーマコード(参考)

4C061

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2002-357284 (P2002-357284)
(22) 出願日 平成14年12月9日(2002.12.9)

(71) 出願人 000000527
ペンタックス株式会社
東京都板橋区前野町2丁目36番9号
(74) 代理人 100078880
弁理士 松岡 修平
(72) 発明者 藤井 喜則
東京都板橋区前野町2丁目36番9号 ペ
ンタックス株式会社内
Fターム(参考) 4C061 JJ19 JJ20

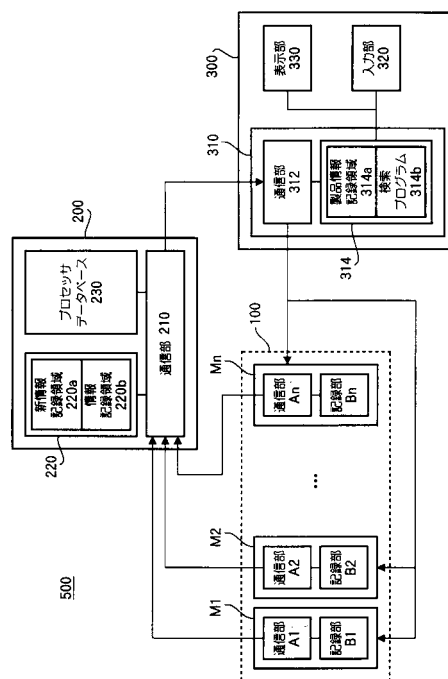
(54) 【発明の名称】 内視鏡用アクセサリ販売システム

(57) 【要約】

【課題】 内視鏡用アクセサリの製品情報の入手が困難、かつ購入する製品の選定に時間が掛かる。

【解決手段】 通信機能を有し、電子内視鏡から得られる画像信号に信号処理を施して外部モニタに表示させる、ユーザー各々が備えているプロセッサと、これらのプロセッサに関する情報が記録されたプロセッサデータベースと、複数の業者が販売する内視鏡用アクセサリに関する情報を記録している記録手段と、を備えている情報センターと、から構成されている。この情報センターは、業者から送信された内視鏡用アクセサリに関する情報を、記録手段に記録する。そして、プロセッサに関する情報に基づいて、記録手段に記録された内視鏡用アクセサリに関する情報を、プロセッサの各々に送信する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

通信機能を有し、電子内視鏡から得られる画像信号に信号処理を施して外部モニタに表示させる、ユーザー各々が備えているプロセッサと、
ユーザー各々が備えている前記プロセッサに関する情報が記録されたプロセッサデータベースと、複数の業者が販売する内視鏡用アクセサリに関する情報を記録している記録手段と、を備えている情報センターと、から構成されている内視鏡用アクセサリ販売システムであって、
前記情報センターは、前記業者から送信された前記内視鏡用アクセサリに関する情報を、前記記録手段に記録し、
前記プロセッサに関する情報に基づいて、前記記録手段に記録された前記内視鏡用アクセサリに関する情報を、前記プロセッサの各々に送信すること、を特徴とする内視鏡用アクセサリ販売システム。

10

【請求項 2】

前記プロセッサは、受信した前記内視鏡用アクセサリに関する情報の中から、所定の内視鏡用アクセサリの情報を検索する検索手段をさらに有し、
検索された前記所定の内視鏡用アクセサリの情報を業者に送信すること、を特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡用アクセサリ販売システム。

【請求項 3】

前記記録手段は、少なくとも第 1 の記録領域と、受信した情報を蓄積しておくための第 2 の記録領域と、を有し、
前記業者から送信された前記内視鏡用アクセサリに関する情報を、前記第 1 の記録領域に記録し、
記録した前記内視鏡用アクセサリに関する情報が、前記プロセッサの各々に送信されると、送信した前記内視鏡用アクセサリに関する情報に基づいて、前記第 2 の記録領域を更新すること、を特徴とする請求項 1 または請求項 2 のいずれかに記載の内視鏡用アクセサリ販売システム。

20

【請求項 4】

前記情報センターは、前記プロセッサデータベースに、前記プロセッサに関する情報が追加された場合、前記追加に該当するプロセッサに、前記第 2 の記録領域に記録された前記製品情報を送信すること、を特徴とする請求項 3 に記載の内視鏡用アクセサリ販売システム。

30

【請求項 5】

前記内視鏡用アクセサリに関する情報は、業者が新しく販売する内視鏡用アクセサリの製品情報、生産中止となる内視鏡用アクセサリの製品情報の少なくとも 1 つを含むこと、を特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の内視鏡用アクセサリ販売システム。

【請求項 6】

前記プロセッサに関する情報は、前記プロセッサの購入日時、前記プロセッサの型番、前記プロセッサのメールアドレス、前記プロセッサを所有するユーザー名、住所、電話番号の少なくとも 1 つを含むこと、を特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の内視鏡用アクセサリ販売システム。

40

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

この発明は、ネットワークを利用して内視鏡用のアクセサリを販売する販売システムに関する。

【0002】**【従来の技術】**

内視鏡を用いて体腔内の生体組織を観察する場合、生体組織を照明する光源装置や、電子

50

内視鏡によって得られた信号を処理する画像処理装置など、内視鏡による画像を観察するためには、さまざまな装置が必要となっている。また、生体組織の止血や採取などの処置を行うためには、それぞれの処置に対応した専用の鉗子が必要となってくる。ユーザーは、これらの内視鏡による観察に用いられる種々のアクセサリーを、各医療機器メーカーが発行しているカタログやホームページなどを参照し、購入していた（例えば、非特許文献1参照。）。

【0003】

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては次のものがある。

【非特許文献1】

「消化管ファイバースコープ(FIBER SCOPES G.I.)」、ペンタックス株式会社、許可番号：玉用第277号、p22-37 10

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、内視鏡用のアクセサリーを販売する医療機器メーカーは数が多いため、ユーザーが購入したいアクセサリーの価格や仕様などを考慮しながら製品を選定すると、非常に時間の掛かる作業となってしまう。また、一般に、このような製品の新しい情報は、展示会等に参加しないと入手し難い。すなわち、ユーザーは、これらの情報を容易に入手することができない。

【0005】

そこで、本発明は上記の事情に鑑み、ユーザーが内視鏡用のアクセサリーの製品情報を容易に入手することができ、購入することができる内視鏡用アクセサリー販売システムを提供することを目的とする。 20

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を解決するため、本発明の一態様に係る内視鏡用アクセサリー販売システムは、通信機能を有し、電子内視鏡から得られる画像信号に信号処理を施して外部モニタに表示させる、ユーザー各々が備えているプロセッサと、これらのプロセッサに関する情報が記録されたプロセッサデータベースと、複数の業者が販売する内視鏡用アクセサリーに関する情報を記録している記録手段と、を備えている情報センターと、から構成されている。この情報センターは、業者から送信された内視鏡用アクセサリーに関する情報を、記録手段に記録する。そして、プロセッサに関する情報に基づいて、記録手段に記録された内視鏡用アクセサリーに関する情報を、プロセッサの各々に送信する。 30

【0007】

また、上記内視鏡用アクセサリー販売システムにおいて、プロセッサは、受信した内視鏡用アクセサリーに関する情報の中から、所定の内視鏡用アクセサリーの情報を検索する検索手段をさらに有しており、検索された所定の内視鏡用アクセサリーの情報を業者に送信する。

【0008】

また、上記内視鏡用アクセサリー販売システムにおいて、記録手段は、少なくとも第1の記録領域と、受信した情報を蓄積しておくための第2の記録領域と、を有しており、業者から送信された内視鏡用アクセサリーに関する情報は、この第1の記録領域に記録される。そして、記録された内視鏡用アクセサリーに関する情報が、プロセッサの各々に送信されると、送信されたその情報に基づいて、第2の記録領域を更新する。 40

【0009】

また、上記内視鏡用アクセサリー販売システムにおいて、情報センターは、プロセッサデータベースに、プロセッサに関する情報が追加された場合、追加に該当するプロセッサに、第2の記録領域に記録された製品情報を送信する。

【0010】

また、上記内視鏡用アクセサリー販売システムにおいて、内視鏡用アクセサリーに関する情報は、業者が新しく販売する内視鏡用アクセサリーの製品情報、生産中止となる内視鏡 50

用アクセサリーの製品情報の少なくとも1つを含んでいる。

【0011】

また、上記内視鏡用アクセサリー販売システムにおいて、プロセッサに関する情報は、プロセッサの購入日時、プロセッサの型番、プロセッサのメールアドレス、プロセッサを所有するユーザー名、住所、電話番号の少なくとも1つを含んでいる。

【0012】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明の実施形態の内視鏡用アクセサリー販売システム500の構成を示すブロック図である。この内視鏡用アクセサリー販売システム500は、通信手段を利用して、ユーザー側である病院に、種々の内視鏡用アクセサリーの提供側である医療機器メーカーの各々の製品情報を提供するシステムである。このシステムは、種々の医療機器メーカー100と、情報センター200と、ユーザーである病院300から構成される。

10

【0013】

以下に、図1を用いて、この内視鏡用アクセサリー販売システム500の構成、及び作用を説明する。

【0014】

内視鏡用アクセサリーを製造・販売する医療機器メーカー100は、複数の医療機器メーカーM1～Mnから構成されている。これらの医療機器メーカーM1～Mnが製造・販売する内視鏡用アクセサリーは、内視鏡によって得られた画像を観察するために必要な、生体組織を照明する光源装置や、生体組織を撮影するための撮影装置、電子内視鏡によって得られた信号を処理する画像処理装置、補助的な視野で生体組織を観察するためのオペレータースコープ、内視鏡と光源装置とを接続させるためのアダプター、洗浄や消毒などを行う際に使用する漏水テスター、生体組織の止血や採取などの処置を行うための種々の鉗子などである。

20

【0015】

医療機器メーカーM1～Mnは、それぞれ自社の販売している内視鏡用アクセサリーの製品情報が掲載されているカタログを発行している。ここでいう製品情報とは、製品名や、外観、特徴、スペック、発売時期などを含む情報である。これらの医療機器メーカーM1～Mnは、それぞれ通信装置A1～An、及び記録装置B1～Bnを備えており、これらの記録装置B1～Bnに、上記カタログに掲載されている製品情報と同等の製品情報を記録している。

30

【0016】

医療機器メーカーM1～Mnは、新製品を開発したり、旧製品が生産中止になったりすると、それらの製品情報を、記録装置B1～Bnに記録し、それぞれの通信装置A1～Anを介して、情報センター200に送信する。

【0017】

情報センター200は、医療機器メーカーM1～Mn全ての製品情報を管理しており、必要に応じて、それらの製品情報をユーザー、詳しくはユーザーが所有するプロセッサに配信するセンターである。この情報センター200は、医療機器メーカーM1～Mn、及びユーザーが所有するプロセッサとデータの送受信を行うための通信部210と、医療機器メーカーM1～Mn全ての製品情報が記録されている記録部220と、ユーザーが所有するプロセッサに関する情報が記録されているプロセッサデータベース230から構成されている。なお、ここでいうプロセッサとは、周知の内視鏡用のプロセッサである。

40

【0018】

図2は、本発明の実施形態の情報センター200に備えられた記録部220のファイル構成を示す概略図である。記録部220は、医療機器メーカーM1～Mnから送信されてくる新しい製品情報を記録する新情報記録領域220a、及び過去に医療機器メーカーM1～Mnから送信された製品情報を記録する情報記録領域220bの少なくとも2つの領域から構成されている。この情報記録領域220bでは、医療機器メーカーM1～Mn毎に、専用のフォルダが設けられており、各フォルダの下位には、該当する医療機器メーカー

50

の製品情報を表すファイルが記録されている。また、医療機器メーカーM1～Mn毎のフォルダとは別に、格納したファイルを削除する"delete"フォルダが設けられている。

【0019】

プロセッサデータベース230は、ユーザーである病院などが所有している全てのプロセッサに関する情報を記録している。ここでいうプロセッサに関する情報とは、ユーザーがプロセッサを購入した日付や、プロセッサの型番、プロセッサのメールアドレス、プロセッサを所有するユーザー名、住所、電話番号などを含んでいる情報である。なお、ユーザーがこのプロセッサデータベース230に、所有するプロセッサの情報を登録するためには、予め、ネットワークやダイレクトメールなどによって、情報センター200に、上記プロセッサに関する情報を通知する必要がある。

10

【0020】

図3は、本発明の実施形態の内視鏡用アクセサリ販売システム500における情報センター200側の処理を示すフローチャートである。以下に、このフローチャートを説明する。

【0021】

情報センター200は、医療機器メーカーM1～Mnのいずれかから送信された新しい製品情報を受信すると(S1)、その受信した製品情報を、新情報記録領域220aに記録する(S2)。なお、ここでいう新しい製品情報とは、医療機器メーカーM1～Mnのいずれかが発売する新製品の情報であったり、既存製品の生産中止の情報であったりする。

20

【0022】

新情報記録領域220aに新しい製品情報が記録されると、その情報を、プロセッサデータベース230に記録されている全てのプロセッサに配信する(S3)。

【0023】

新情報記録領域220aに記録された情報を、プロセッサデータベース230に記録されている全てのプロセッサに配信すると、次に、情報記録領域220bの更新処理を行う(S4)。以下に、その更新処理の説明を行う。

【0024】

医療機器メーカーから送信された情報が、そのメーカーの新製品情報である場合、S11に進み、製品情報追加の処理を行う。例えば、医療機器メーカーM1から送信された情報が新製品情報であった場合、その新製品情報のファイル名に基づいて、情報センター200は、医療機器メーカーM1の製品情報を記録しているフォルダを検索する。そして、該当フォルダを検出すると、その新製品情報のファイルは該当フォルダ内に記録され、この処理は終了する。

30

【0025】

また、医療機器メーカーから送信された情報が、そのメーカーの既存製品の生産中止情報である場合、S12に進み、その生産中止製品情報を削除する処理を行う。例えば、医療機器メーカーM1から送信された情報が既存製品の生産中止情報であった場合、その生産中止情報のファイル名に基づいて、情報センター200は、医療機器メーカーM1の製品情報を記録しているフォルダを検索する。そして、該当フォルダを検出すると、さらに、そのフォルダ内に記録されている生産中止となる製品の情報を検索する。そして、該当ファイルが検出されると、そのファイルは"delete"フォルダに移動され、この処理は終了する。この"delete"フォルダ格納されたファイルは、格納後所定時間経過すると、自動的に記録部220から削除される。

40

【0026】

図4は、プロセッサデータベース230に、新しいプロセッサに関する情報が記録された場合に発生する、割り込み処理を示すフローチャートである。以下に、このフローチャートを説明する。

【0027】

ユーザーから、ネットワークやダイレクトメールなどによって、情報センター200に、

50

新規に、プロセッサに関する情報が通知されると、プロセッサデータベース230には、その新規のプロセッサに関する情報が記録される。そして、図4に示す割り込みルーチンが発生する。すなわち、新規にプロセッサデータベース230に記録されたプロセッサに対して、情報センター200は、情報記録領域220bに記録されている医療機器メーカーM1~Mnの製品情報を送信する。

【0028】

このように、記録部220を新情報記録領域220aと情報記録領域220bの2つの領域から構成することによって、以前からプロセッサデータベース230に記録されているプロセッサに対しては、医療機器メーカーM1~Mnから送信される新しい製品情報のみを提供することができる。また、新規にプロセッサデータベース230に記録されたプロセッサに対しては、これまでに蓄積・更新してきた医療機器メーカーM1~Mnの最新の製品情報を提供することができる。

10

【0029】

図1に示すように、病院300は、内視鏡から得られる画像信号に信号処理を施し、その信号を外部モニタに出力するプロセッサ310と、プロセッサ310を操作するための操作キーが設けられた入力部320と、内視鏡によって得られた体腔内の観察画像を表示する表示部330から構成されている。

【0030】

プロセッサ310は、外部装置とのデータ通信を行う通信部312と、種々の情報が記録されている記録部314を備えている。この記録部314には、情報センター200から送信された製品情報を記録する製品情報記録領域314a、及び後述する検索プログラム314bが記録されている領域の少なくとも2つの領域から構成されている。

20

【0031】

製品情報記録領域314aに記録された製品情報は、入力部320を操作することによって、表示部330に表示させることができる。ユーザーは、検索プログラム314bを起動させることによって、所望の製品情報を閲覧することができる。以下に、この検索プログラム314bの一態様を示す。

【0032】

検索プログラム314bを起動させると、最初に、種々のカテゴリー毎に分類された製品情報が表示される。ここでは、「鉗子」、「カテーテル」、「その他」のカテゴリーに分類された製品情報が表示部330に表示される。ユーザーは、例えば、バスケット把持鉗子を検索したい場合、ここでまず「鉗子」を選択する。

30

【0033】

「鉗子」を選択すると、次に、鉗子の用途を選択する画面が表示される。ここでは、「止血」、「切除」、「採取」などが表示される。バスケット把持鉗子を検索する場合、「採取」を選択する。

【0034】

「採取」を選択すると、次に、鉗子の形状を選択する画面が表示される。ここでは、ユーザーは、入力部320を操作し、検索したい鉗子の有効長や径などの形状に関する情報を入力する。

40

【0035】

検索したいバスケット把持鉗子の形状を入力すると、表示部330上に、種々の医療機器メーカーM1~Mnが販売している、検索条件に該当するバスケット把持鉗子の一覧が表示される。ユーザーは、例えば、医療機器メーカーM2のバスケット把持鉗子を購入したい場合、プロセッサ310の通信部312を利用して、医療機器メーカーM2に、バスケット把持鉗子を購入する情報を送信することができる。

【0036】

以上が本発明の実施形態である。本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく様々な範囲で変形が可能である。

【0037】

50

なお、本発明の実施形態において、医療機器メーカー M 1 ~ M n から送信された製品情報を、情報センター 2 0 0 が受信すると、直ちに、その受信した製品情報をユーザーに送信しているが、病院・研究所などの業務時間外である深夜に、一日の間に受信したさまざまな製品情報を、一括して、ユーザーに送信するように構成してもよい。

【 0 0 3 8 】

【発明の効果】

以上のように本発明の内視鏡用アクセサリ販売システムは、種々の医療機器メーカーが販売している製品情報の全てを管理している情報センターが、ユーザーの所有するプロセッサの各々に、それらの製品情報を配信するように構成されている。このため、プロセッサを所有しているユーザーは、種々の医療機器メーカーが販売している製品情報を一括して管理することができ、また、閲覧することができる。

10

【 0 0 3 9 】

また、内視鏡用アクセサリ販売システムにおいて、プロセッサに、製品情報を検索する手段を設けることによって、ユーザーは、種々の医療機器メーカーの中から、容易に、購入したい製品の情報を閲覧することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施形態の内視鏡用アクセサリ販売システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】本発明の実施形態の情報センターに備えられた記録部のファイル構成を示す概略図である。

20

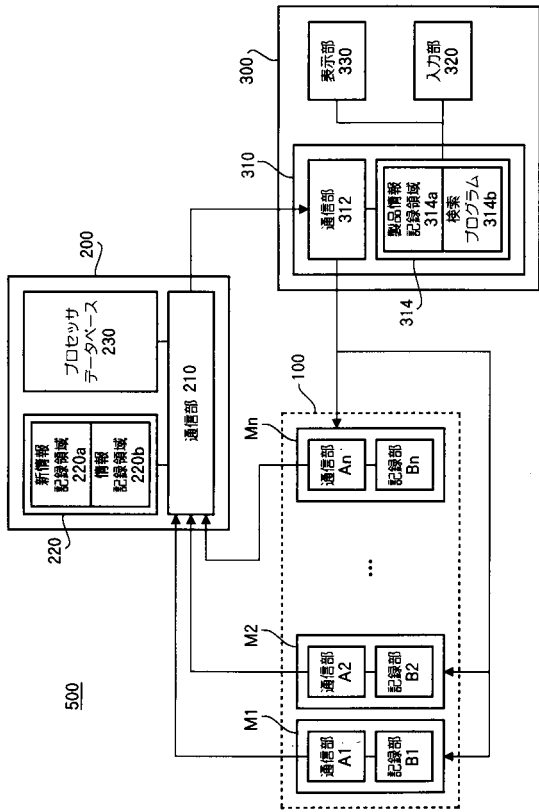
【図 3】本発明の実施形態の内視鏡用アクセサリ販売システムにおける情報センター側の処理を示すフローチャートである。

【図 4】本発明の実施形態のプロセッサデータベースに、新しいプロセッサに関する情報が記録された場合に発生する、割り込み処理を示すフローチャートである。

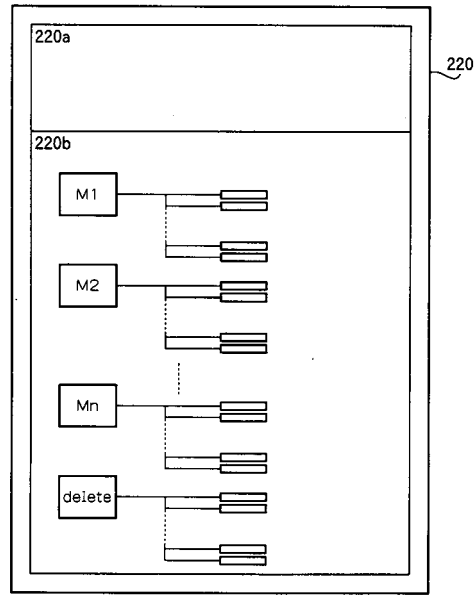
【符号の説明】

- 1 0 0 医療機器メーカー
- 2 0 0 情報センター
- 3 1 0 プロセッサ
- 5 0 0 内視鏡用アクセサリ販売システム

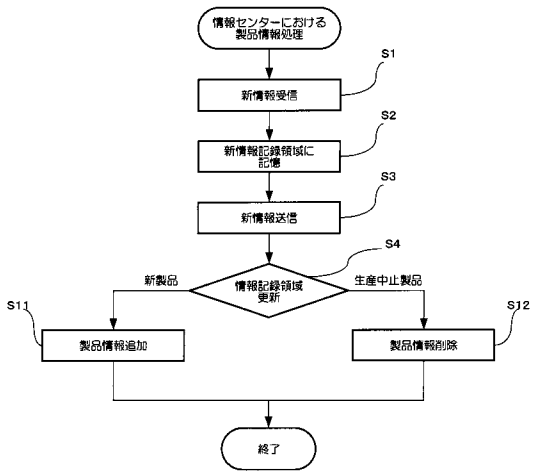
【図1】



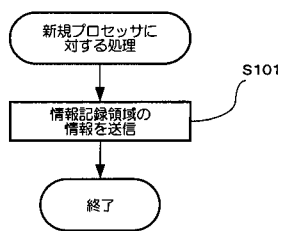
【図2】



【図3】



【図4】



专利名称(译)	内窥镜配件销售系统		
公开(公告)号	JP2004187807A	公开(公告)日	2004-07-08
申请号	JP2002357284	申请日	2002-12-09
[标]申请(专利权)人(译)	旭光学工业株式会社		
申请(专利权)人(译)	宾得株式会社		
[标]发明人	藤井喜則		
发明人	藤井 喜則		
IPC分类号	A61B1/00 G06Q30/02 G06Q30/06 G06Q50/00 G06F17/60		
FI分类号	A61B1/00.Z G06F17/60.302.A G06F17/60.326 A61B1/00.630 G06Q30/02.150 G06Q30/02.470 G06Q30/06.100 G06Q30/06.110 G06Q30/06.110.A G06Q30/06.300 G06Q50/00		
F-TERM分类号	4C061/JJ19 4C061/JJ20 4C161/JJ19 4C161/JJ20 5L049/BB08 5L049/BB24		
其他公开文献	JP4321846B2		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

解决的问题：很难获得内窥镜附件的产品信息，并且花费时间来选择要购买的产品。为每个用户提供的具有通信功能的处理器，对从电子内窥镜获得的图像信号进行信号处理，并在外部监视器上显示该图像信号，以及其中记录有关于这些处理器的信息的处理器。信息中心包括数据库和记录单元，该记录单元记录关于由多个供应商出售的内窥镜附件的信息。该信息中心在记录装置中记录从商人发送的关于内窥镜附件的信息。然后，基于有关处理器的信息，将记录在记录装置中的内窥镜用附件的信息发送给各处理器。[选型图]图1

